

大学生と高校生と地域 各自治体の課題に今夏も挑戦！ 第2回

SDGs × 甲南大学

Sustainable Development Goals

Konan University

甲南大学の大学生と各地域の高校生、自治体が力を合わせ、地域の課題解決に挑戦する「関西湾岸SDGsチャレンジ」(主催: 甲南大学、朝日新聞社メディアビジネス局) が今年も夏休みに実施されます。甲南大学と神戸市、堺市、和歌山市、徳島市、岡山市の5市が連携。2年目を迎えてさらに進化するプロジェクトと甲南大学の取り組みをレポートします。



【関西湾岸ネットワーク】甲南大学では「海でつながる」をキーワードに、神戸市、堺市、和歌山市、徳島市と「関西湾岸ネットワーク」を2016年に構築。さまざまな地域連携活動に取り組んできました。今年のSDGsチャレンジは岡山市を加えて、瀬戸内へと連携を広げています。(※)

「関西湾岸SDGsチャレンジ」2年目で進化 持続可能な未来へ

大学の学びを課題解決に役立てる 実り多い挑戦に確かな手応え

「昨年、初めて実施した『関西湾岸SDGsチャレンジ』は想像以上の手応えがありました。本学の学生は現場体験から課題に気づき、地元の高校生とも協力して主体的に活動してくれました。各自治体の皆様も積極的に関わってくださり、とても実りのある第一歩が踏み出せました」と甲南大学副学長の佐藤泰弘教授は話す。



佐藤 泰弘 副学長

甲南大学生と高校生が合わせて7〜9人で1チームを組み、関西湾岸ネットワークの4市(神戸市、堺市、和歌山市、徳島市)に分かれて、現場でフィールドワークをして課題の掘り起こしから解決策までを提案。その際に重要な指針となったのが、SDGsの17ある開発目標の視点だった。

このチャレンジは甲南大学が積極的に展開している地域連携教育の一環だ。同大学は2011年、大学が持つ知的資源を地域の課題解決や活性化に役立てることな

どを目的に地域連携センターを開設。各地の自治体や商工会議所など20以上の団体と地域連携協定(包括連携協定を含む)を締結し、学生のさまざまなプロジェクトやボランティアを積極的に支援してきた。今回も大学での学びをもとに、学生が各地域で自主的に活動することを狙いとしている。教員はメンター(助言者)という位置づけで、朝日新聞記者も取材方法などを手ほどきして活動を支える。

現場で高まる主体性と意欲 朝日新聞社も学生をサポート

経営学部の藤田順也准教授は、昨年の第1回で堺市を担当。大学生5人と市立堺高校の4人が、住民減少と高齢化を抱える泉北ニュータウンの再生策に取り組んだ。「SDGsの本を事前に読んだり、学内の関連講演を聞くなど、学生の意識の高さに感じました。学生たちは最初、ニュータウンをぼんやりとイメージで捉えていましたが、



藤田 順也 准教授



現場を調査すると、まちを取り囲む「緑道」に価値を見いだしました。自らの目を見て、住民の話聞くことで理解が深まり、対策を講ずる意欲が高まってきたようです」と振り返る。新聞社が関わることで活動の社会性や客観性が高まり、やりがいにつながったとも評価する。

第2回となる今年の「関西湾岸SDGsチャレンジ」には岡山市も加わる。甲南大学が岡山県と就職支援協定を結んでいる縁で実現した。今年は各自治体の課題を考えるグループワークを昨年の1日から1泊2日に拡大。フィールドワークの期間も長めにし、各自がテーマについてより深く掘り下げられるように進化し、昨年にも増して広範で有意義な議論が期待される。

SDGsを生活と結び付ける 「人物教育」で考える力伸ばす

また、今年はSDGsとの関連性にもより着目し、チャレンジが進められる見通しだ。「例えば、昨年神戸市のチームが取り上げた定住外国人の児童の教育問題を考えるにしても、そこには生活や経済問題などが絡んでいるかもしれません。持続可能な社会をつくるには、広い視野で地域課題を考えることが大切。本学は、個性を尊重し自ら考える力を育む『人物教育』を重

甲南大学の学生と地元高校生が取り組んだ昨年の課題と解決策

- 堺市** 「泉北ニュータウンの再生」
市役所や市民団体を取材し、まちを巡る歩行者専用道路「緑道」を花で囲み、幅広い世代が楽しめるまちづくりプランを提案した。
- 和歌山市** 「交通手段を改善した住みやすいまちづくり」
市役所やコミュニティバス運営団体に聞き取り調査。免許が不要で、高齢者も利用しやすい電動カートの共同利用を提案した。
- 神戸市** 「多文化共生に向けた定住外国人への支援」
外国人児童の進学率向上に向けて、市役所、支援団体を取材。進学率向上のため、学生ボランティアの活用などを提案した。
- 徳島市** 「伝統の『藍』の保存と活性化」
伝統ある藍染めを持続可能な産業にするため、藍染め業者らを調査。企画展や体験ツアーによる観光客増加、地域活性化を提案した。

視していますが、その精神の表れでもある取り組みなのです」と佐藤副学長は力を込める。藤田准教授も「現場に立つことで、SDGsの視点を日々の生活と結び付けて学べます。今年は提案の実現化に少しでも近づきたい」と続ける。未来を担う若者たちの活動とアイデアに今年も熱い視線が注がれそう。

★SDGs…「誰一人取り残さない」を理念とし、国際社会が2030年までに取り組む持続可能な開発目標。15年の国連サミットで、全会一致で採択された。



step1 7/14(日)15(月・祝) グループワーク

参加を希望する甲南大学の学生と5市の高校生が一堂に会す。大学生と高校生でチームを組み、各自治体が大枠を提示した課題とSDGsを勘案し、取り組むテーマを決める。



step3 9/22(日) SDGsチャレンジアカデミー

現場で気づいたことから課題の解決策をまとめる。自治体に向けたプレゼンテーション「SDGsチャレンジアカデミー」(会場: 甲南大学)で成果発表し、講評を受ける。



step2 8/5(月)〜7(水) フィールドワーク

チームごとに担当する地域に赴き、大学生と高校生が力を合わせ、調査したい企業や団体などへのインタビュー、視察、データの入手などを行う。



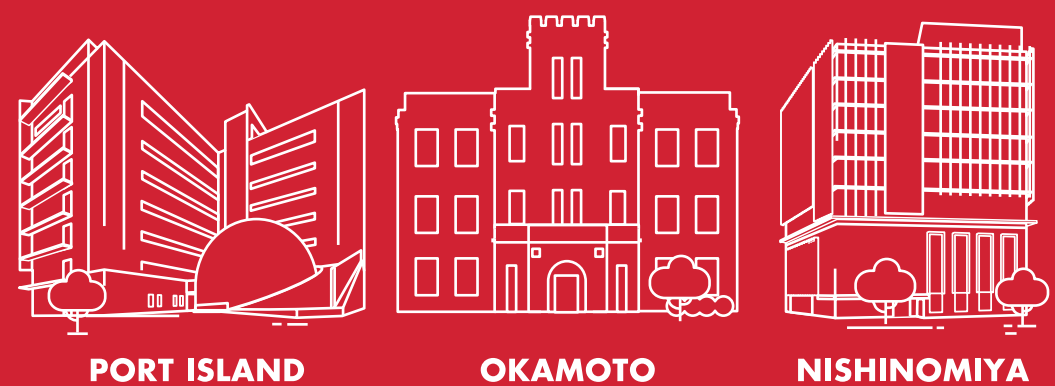
step4 10月以降 成果を広く社会へ

甲南大学生と高校生が研究成果をポスター発表する「甲南大学リサーチフェスタ」で報告。大学のウェブサイトやSNS、朝日新聞などでも活動内容を発信する。



(※)写真提供: 公益社団法人岡山県観光連盟、徳島県一般財団法人徳島県観光協会、一般財団法人神戸観光局、公益社団法人和歌山県観光連盟、公益社団法人堺観光コンベンション協会

KONAN UNIVERSITY OPEN CAMPUS 2019



7/14 sun 10:00-16:00

8/4 sun 10:00-16:00

大学説明会
学部学科説明会
模擬講義・入試説明会
キャンパスツアー
入試対策講座
オープンラボ(体験実験)など
多彩なイベントを開催!
※スケジュールはWEBをチェック!

無料送迎バスを利用して/
オープンキャンパスを
体感してみよう!!

あなたの街から岡本キャンパスに直行!

出発地 和歌山・大阪(岸和田・三国ヶ丘・難波)
徳島・岡山・香川

●保護者の方も大歓迎!! 詳しくは下記でチェックしよう!!



岡本・西宮・ポートアイランド3キャンパス
同時開催(全日程共通)



岡本キャンパス
文学部/経済学部/法学部/経営学部
理工学部/知能情報学部
阪急「岡本」駅より徒歩約10分
JR「摂津本山」駅より徒歩約12分

西宮キャンパス
マネジメント創造学部
阪急「西宮北口」駅より徒歩約3分
JR「西宮」駅より徒歩約13分

ポートアイランドキャンパス
フロンティアサイエンス学部
神戸新交通ポートアイランド線
(ポートライナー)
「京コンピュータ前」駅より徒歩約4分

イベント内容やバスツアーの
申し込み方法など、詳しい情報は
「甲南Ch.」で確認して下さい

甲南Ch. 検索
受験生向け情報サイト「甲南Ch.」
http://ch.konan-u.ac.jp/

甲南大学

お問い合わせ先
甲南大学アドミッションセンター
TEL:078-435-2319(直通)